

今月の

天友会・神勝寺からのお知らせ▶

のPick up

天友会、神勝寺で開催されるイベントの告知や、当日の様子などを紹介。皆さんぜひご参加ください。

天友会

ご逝去 謹んでお悔やみ申し上げます			
石田 肇様	2022年9月9日 81歳	在籍会社:常石造船	
圓藤 年久様	2022年10月10日 90歳	在籍会社:常石造船	
樋口 義一様	2022年10月12日 74歳	在籍会社:常石造船	
鎌田 富雄様	2022年10月12日 77歳	在籍会社:旧・神原海洋開発	

新会員紹介

氏 名	退職時在籍会社
森下 晋治様	常石造船

11月の行事

『歩こう会』1時間程度歩きます。雨天の場合は中止

日 時	毎週火曜日 午前7時30分から
集合場所	ツネイシしまなみビレッジ本館

【お問い合わせ】
天友会事務局 所在地:福山市沼隈町中山南26-1
TEL:084-988-0302 FAX:084-988-0300

神勝寺

早朝坐禅会

日 時	毎週水曜日 午前6時から
場 所	国際禅道場内 大徹堂

無明会

日 時	11月12日(土) 午前11時から
場 所	神勝寺 無明院

公開講座のご案内

日 時	11月19日(土) 午後1時から
講 師	花園大学国際禅学研究所 芳澤 勝弘先生
場 所	神勝寺 無明院
講 座	禅文化講座(聴講無料)
※12月の日程については次回、お知らせ致します。	

【お問い合わせ】
神勝寺 無明院
TEL:084-988-1111 FAX:084-988-0117

参加者募集

天友会では11月、12月に次のイベントを開催。
現在、参加者を募集しています。
詳細は次の通り。

第20回
天友会グラウンドゴルフ大会

日 時	11月16日(水)
場 所	みろくの里 (ツネイシしまなみビレッジ ツネイシフィールド)
参加費	500円
申込期限	11月7日(月)までに天友会事務局へ(期限厳守)

第19回
囲碁・将棋・麻雀大会

日 時	11月24日(木)
場 所	みろくの里(ツネイシしまなみビレッジ本館)
申込期限	11月7日(月)までに天友会事務局へ

問い合わせ・申し込みはいずれも天友会事務局へ。 TEL:084-988-0302 FAX:084-988-0300

天友会親睦旅行

日 時	12月8日(木)~9日(金) ※1泊2日 8:30集合 9:00出発
集合場所	ツネイシしまなみビレッジ本館
行 先	皆生温泉泊(足立美術館~境港さかなセンター ~出雲大社~島根ワイナリー 等)
募集人数	20人程度
旅行費用	約27,000円(旅行支援金適用予定)
申込期限	11月10日(木)までに天友会事務局へ ※参加者の皆様には後日、詳細をご連絡します。



足立美術館の日本庭園

つねいし通信

2022.11
Vol.008

事業所紹介

南九州に拠点を置く「山下回漕店」

東北から九州まで日本各地に事業拠点を置く常石グループの仲間を詳しく知る機会として、事業所を紹介。
今回は、鹿児島県志布志市(しづしし)に拠点を置く「山下回漕店」にスポットを当てる。

南九州地域の物流拠点として
発展を続ける志布志

鹿児島県志布志市にある志布志港は小さな漁港だったが、鹿児島県東部地域の流通拠点港湾として整備され、1969年4月に重要港湾として指定された。現在は、本港地区、外港地区、若浜地区、新若浜地区の4地区で構成され、南九州地域の物流拠点として経済発展に大きく寄与している。

世界に向けた物流拠点を担うとともに、
国内での一貫輸送を推進

「山下回漕店」は1912年に開業し、主として、一般港湾運送業、内航海運並びに貨物回送に関する事業、船舶代理店業、倉庫業、通関業といった物流事業を展開。志布志に寄港するコンテナ船社の航路を利用し、中国・東南アジアを中心とする世界各国の物流を担うほか、国内輸送においては、輸送の一部に海上輸送を取り入れたモーダルシフトによる一貫輸送を推進している。

『無事故・無災害の達成』を重視

事業を展開するうえで「安全」と「品質」を第一に、顧客の期待を実現することにより顧客満足の向上を目指しており、その第一歩として『無事故・無災害の達成』を重視。社員に繰り返し注意喚起するほか、「信用を得るには時間がかかるが、失うのは一瞬」ということを常に意識し行動するよう指導する。

意識の変革を加速するため
トップダウンからボトムアップへ

意識の変革を加速し、自立した組織に向かうため、トップダウンからボトムアップへの意識転換を促進。事務職、現業職にかかわらず、改善や新しい取り組みなどを自身で考え、行動に移すよう促すとともに、役員・管理職には、部下から提案・相談を受けた際は否定から入らず、まずは内容をしっかりと聞くことを心掛けるよう呼び掛けている。

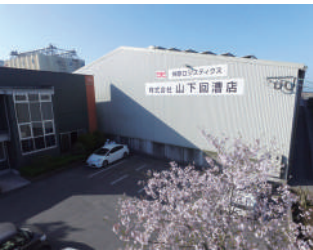
常石グループの
子会社化を機に、
国際物流企業へと成長

常石グループとの絆は2005年、常石ポートサービス(当時)が山下回漕店の株主となったことに端を発する。京阪神地域に営業基盤を持つ常石グループの存在は、山下回漕店が営業活動を国内外へと大きく展開する原動力となり、これを機に、物流に関わるあらゆる業務を遂行できる国際物流企業へと成長を遂げている。

2011年1月、神原汽船の100%子会社化。一番のシナジー効果は、神原ロジスティクスと顧客情報を共有することにより、南九州地域および京阪神地域の輸出入業者に対して、通関、倉庫、運送業務を連携させた一貫通貫の広域サービスの提供が可能になった点。両社の営業拡大の機会が増えるだけでなく、神原汽船のコンテナ取り扱い数量の拡大にもつながっている。

規制強化を事業拡大の好機とし、
モーダルシフトを積極的に推進

2024年にトラックドライバーの拘束時間などに対する規制が強化されることにより、南九州と京阪神間の陸上輸送が厳しくなると予想される運送業界。海上輸送の需要の増大が見込まれており、同社は今後、輸送の一部に海上輸送を取り入れたモーダルシフトをより積極的に推進していく。



【会社概要】	
代表取締役	小幡 正則
資本金	5,000万円
社員数	56人(2022年6月現在)
主要事業	一般港湾運送事業、倉庫業、運輸業、通関業、船舶代理店業
株主	神原汽船100%子会社
http://www.ss-yamashita.co.jp/	

July ~ September , 2022

地元・沼隈で社会の一員に 高校生向けの企業実習を開催

常石造船 7/26~29

常石造船は7月26日から29日にかけて、高校生に向けた企業実習を行った。この実習は、「プロの現場で働く厳しさ」や「地元で働くことのやりがい」など、キャリアについて考える機会を提供することが目的。地元の広島県立沼南高等学校の2年生4人が参加し、工場見学をはじめ、溶接やシステム運用業務を体験した。常石造船は今後も、地域貢献に努めていく。



生徒たちからは「船の建造にたくさんの人が携わっていることに驚いた」「仕事に対する責任を感じた」などの感想が寄せられていた

社員の家族に造船業の魅力を伝えたい 2022年度ファミリーデー開催

常石集団(舟山)造船 [TZS] 8/15

TZSは社員の家族200人以上を招いてファミリーデーを開催した。実施にあたり、各部署が協力して道具の設置やバスの手配などを行い、参加者の安全や健康確保を実現。当日はTESS64(SS302)の進水式見学会や昼食会、誕生日を迎えた参加者への花束贈呈が行われた。会社としての一体感を向上させ、社員の家族にTZSや造船業の魅力を伝える良い機会となった。

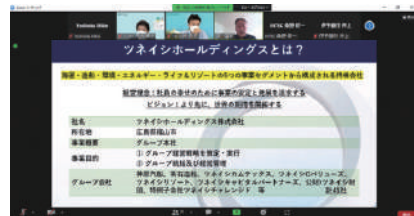


当日は、進水前のTESS64を見学した後、進水の様子を見届けた。参加者は、ゆっくりと進水する本船の迫力に歓声を上げていた

デジタル化の取り組みを紹介 DX推進セミナーに森執行役員登壇

ツネイシホールディングス[THD] 8/26

8月26日、地方銀行向けDX推進セミナー「TIS共同研究コンソーシアムセミナー」が開催され、THD情報戦略部の森 悟志執行役員が登壇した。セミナーでは、スマートフォンに特化した経費精算サービス『Spendia(スぺンディア)』の導入事例やシステムの入れ替えを検討した経緯など、取り組みの先進性を紹介。オンラインで視聴していた地方銀行6行から多くの質問が寄せられた。



セミナーを主催したTISは、東京都のキャッシュレス決済や電力インフラなどITサービスを提供している企業。『Spendia』は同社によって開発された

パワー全開で楽しい時間を 常石グループ施設見学会を開催

ツネイシホールディングス[THD] 8/31

THDは8月31日、小学生を対象とした施設見学会を実施し、小学1年~5年の13人が参加した。バスに乗って工場を見学し、車内では船についてのクイズにも挑戦。その後尾道で駅周辺を散策し、備後商船が運航するフェリーのチケットを自分で購入して乗船した。子どもたちは最初こそ緊張していたが、すぐに目を輝かせ楽しい時間を過ごしていた。



尾道駅の展望デッキで記念撮影をし、ONOMICHI U2でアイスクリームを堪能。「いろいろな場所へ行けて楽しかった」などと感想が寄せられた

常石第三期 社宅新築工事の 安全祈願を実施

神原汽船 9/5

神原汽船は9月5日、常石第三期社宅新築工事の安全祈願を実施。神原 宏達社長をはじめ、関係者15人が参加した。読経の中で参加者は焼香し、工事の安全を祈願した。社宅は地上2階建ての木造と一部鉄筋コンクリート造りで、1住戸あたり90平方メートル。計15住戸が新築される。工事は9月1日から始まっており、2023年8月に完成予定。



神勝寺無明院の武田 忠法禪士が読経する厳肅な雰囲気の中、安全祈願が行われた



本船の導入により、神原タグマリンサービスはより質の高いサービスの提供が可能となる

新造船 2,000馬力型曳船が進水

神原タグマリンサービス 9/7

神原タグマリンサービスは9月7日、常石造船で建造中だった2,000馬力型曳船(タグボート)の進水作業を執り行った。本船はクレーン2基により吊り上げられた後、関係者に見守られながら無事に進水。当日は天候にも恵まれた。今後は艀装工事が進められ、10月の命名引渡式にて引渡しを受ける予定だ。本船は同社7隻目のタグボート。船隊の強化により、サービスの向上を図る。

工事中の安全と建物の繁栄を祈って 福山SS工事の地鎮祭を実施

ツネイシCバリューズ[TCV] 9/10

TCVは9月10日、福山SS(福山市南本庄)セルフ化リニューアル工事に伴い、地鎮祭を執行了。本工事では、フルサービスのスタンドである福山SSの敷地を拡大してセルフSSにリニューアルし、新たな価値を提供できるSSを目指す。工事完了は2022年12月中旬の予定で、従来のガソリンスタンド形態で運営しつつ、将来の自動車のエネルギー転換にも柔軟に対応していく。



地鎮祭にはTCVの津幡 靖久代表取締役社長をはじめ15人の関係者が参列した

2022年大般若祈祷法要 3年ぶりの通常開催、初のライブ配信

ツネイシホールディングス[THD] 9/10

9月10日、神勝寺 無明院にて2022年大般若祈祷法要が執り行われた。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため昨年まで規模を縮小していたが、感染対策を徹底して開催。グループ各社の役員、管理職、天友会・奉賛会の方々など総勢約250人が参列した。また今回から、フィリピンなど国内外の常石グループ各社に向けてライブ配信を実施。現地関係者はリモートにて参列する形となった。



建仁寺派管長の小堀 泰蔵老大師をご導師に迎え、建長寺、永源寺をはじめ30人のご寺院さまが約30分にわたり転読を行った